

大学院土曜日開講の段階的縮小・廃止について

神戸大学大学院経済学研究科では、土曜日開講を原則として、働きながら週末を利用して就学出来る博士課程前期課程の社会人コースを設けていました。今後も社会人のための特別選抜は続けていきますが、平成 31 年度より、大学院の土曜日開講は段階的に縮小・廃止することになりました。現行制度の下で入学されている方々は、規定の要件に基づいて単位修得をしていただくこととなります。平成 31 年度以降しばらくの間は移行期間として、科目数は少なくなりますが、引き続き土曜日開講の科目を提供していきますので、その点はご安心ください。ただ、履修に当たり以下の諸点には十分にご留意ください。

- (1) 博士課程前期課程では、「演習」（研究指導教員によるゼミ）8 単位を必修とし、それ以外に「自由選択科目」または「特殊研究」より 22 単位以上を取得する必要があります。
- (2) 「特殊研究」はサブゼミに相当するもので、4 単位まで修了要件の単位数として算入が可能です。
- (3) 「自由選択科目」は、一科目 2 単位ですので、9 科目以上（2 単位×9 科目＝18 単位）修得しておけば修了が可能です。
- (4) 自由選択科目は、前期・後期それぞれ 5 科目程度開講されていますので、できるだけ 2 年間で取得できるように計画的に履修してください。

（平成 30 年度に開講予定の自由選択科目は以下の通りです）

	1 時限	2 時限	3 時限
前期	基礎統計分析 地域経済統計論	基礎ミクロ経済学 現代技術論	日本経済論
後期	公共政策 ミクロデータ分析	基礎マクロ経済学 経済史	現代経済学

- (5) 平成 30 年度以降も必要に応じて、夏期に集中講義を開講する予定です。平成 30 年度は、主に博士課程前期課程の学生を対象とした 2 科目（4 単位）の開講がすでに決まっています。
- (6) **長期履修制度の活用は可能です。**平成 31 年度からしばらくの間は移行期間として土曜日開講科目を提供していきますが、皆様の単位修得状況を考慮しながら開講科目数は毎年少しずつ減らしていく予定です。**長期履修制度を利用される場合にも、自由選択科目はできるだけ早く取得しておくように心がけてください。**

ご不明な点等あります場合には、ご遠慮なく学部・大学院教務係までご連絡ください。